

ふくい農業委員会だより

No.134
令和4年1月発行
編集発行 福井市農業委員会
福井市大手3丁目10番1号
TEL 0776-20-5550
FAX 0776-20-5558



おせち料理（野路直美 農業委員 提供）



新年のご挨拶

福井市農業委員会

会長 武澤義明

あけましておめでとうございます。

農業者の皆様におかれましてはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、福井市農業委員会では、平成28年の農業委員会等に関する法律の改正後、遊休農地の発生防止・解消や、担い手への農地集積・集約等に取り組み、農地利用の最適化の推進を図って参りました。

今般、国では法改正5年後の検証を踏まえ「新たな農地利用最適化」を掲げ、具体的な成果の確保を目指し、新段階へ取り組みを強化しているところであります。

本委員会としても、「守るべき農地の明確化」を図るため、農地所有者の意向把握と地域の話し合い活動に積極的に取り組む、これまでに以上に地域農業の牽引役として期待に添えるよう努めて参ります。

また今年には「第24回全国農業担い手サミットinふくい」の開催が予定されています。これは一年に一度、県内外の農業の担い手が集う国内最大規模の大会で、福井県では初の開催となります。

福井県の魅力ある農業を全国へ発信する良い機会でもありますので、農業者の皆様におかれましては、本大会への積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、一刻も早いコロナ禍の収束と今年一年の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。



耕作放棄地解消の取組み

三里浜オリーブ生産組合

■ 粟地区白方町 ■

福井市と坂井市にまたがる三里浜砂丘地で、オリーブの栽培に取り組んでいる、福井市粟地区の住民有志団体「三里浜オリーブ生産組合」が、令和3年11月8日と9日、オリーブの収穫作業と、搾油作業を行いました。約100キログラムの実を収穫し、約7リットルのオリーブオイルを搾りました。

同地区では砂丘地の水はけの良さを生かし、昔からラッキョウ、スイカ、大根などが作られています。しかし、農業者の高齢化や耕作放棄地の増加が問題となっていました。



組合員たちと地域おこしマネージャーによる収穫作業の様子



令和3年に導入した搾油機

そこで、平成29年に同地区の活性化を目指し、「三里浜砂丘地園芸産地振興協議会」が設立され、そのなかで防砂対策、休耕地解消、景観の改善などを目的にオリーブを250本試験植樹したのを始まりに、「三里浜オリーブ生産組合」を設立しました。

オリーブは実がなるまで数年かかること、当初の想定より、雑草対策などに人手と管理費がかさんだこと、それに加え、昨年は専用の加工場の整備(搾油機も含む)に費用がかかったことなどの課題はありましたが、毎年オリーブの苗を植樹していき、現在は16品種2,000本と当初の7倍超になり、栽培面積は5ヘクタールに広がっています。

令和2年、植樹以来初めてまとまった量を収穫し、他県のオリーブ農場に搾油を依頼しましたが、令和3年は、地元のラッキョウの加工場だった場所を整備し、オリーブの加工場としまし

た。そこに自前の搾油機を導入し、初めて収穫から搾油までの工程を現地で行いました。

また令和3年は7月に、無農薬で育てた木から摘んだ葉で作った「オリーブ茶」の製品化も行いました。オリーブオイル、実の塩漬は今年から発売する予定です。

葉、実、オイルと、オリーブは捨てる場所のない植物だと言われています。

村嶋哲郎組合長は、「昨年は実が少なかった。安定して実をつけるよう栽培技術を確認していきたい。今後は順調に木を大きくしていきたい、新商品のアイディアも形にしていきたい」と意欲的に語っていました。

オリーブオイル搾油の流れ

- ① 収穫する。実の量の確認も兼ね、あえて選別は行わず収穫する。
- ② オリーブオイルを搾る実を選別する。小さい実、傷のある実などをより分ける。
- ③ 搾油する。温度や水分量に注意しながら、搾油機にかけていく。
- ④ 濾過をする。3、4日かけ、皮などの不純物を取り除いていく。
- ⑤ ビンに詰める。一本ずつ量りながら、手作業で詰めていく。

(写真次ページ)



濾過したオイルを
仮のビンに詰めていく



オイルを搾る実を選別



搾りたてのオリーブオイル



新商品のオリーブ茶
爽やかな味わい



収穫したオリーブ



左から田端前委員・伊藤参与・市村前委員・
武澤会長・山本会長職務代理者・池田参与

- 福井県農業委員会 会長表彰
- 武澤 義明(円山東地区)
 - 市村 武男(社地区)
 - 池田 敏雄(西安居・殿下地区)
 - 山本 清幸(清水東地区)
 - 伊藤 義明(西藤島地区)
 - 田端 秀雄(鶉地区)

福井県知事表彰

令和3年11月10日にユニー・アイふくいで開催された福井県農業委員会大会において、次の6名が表彰されました。(敬称略)
市村武男さん、田端秀雄さんは令和2年7月19日まで農業委員を務められていました。

農業委員表彰



若い
今こそ年金
アクション!



若い農業者の皆さん!

自分の老後自分で守れますか?

農業者年金なら・・・

- **保険料は自由に選べる!**(2万円~6万7千円、千円単位)
さらに、35歳未満であれば、1万円からでも加入可能!
- 認定農業者で青色申告者等には、
国庫補助で手厚い支援!
- 自ら支払った保険料は、**全額社会保険料控除の対象!**
その他にも、**税制面で優遇措置がある!**

※農業者年金の加入には、
「国民年金第1号被保険者であること」
「年間60日以上農業に従事していること」
「60才未満であること」
の3つの要件を満たしている必要があります。
※詳しくは、農業委員会、又はお近くのJAへ!



詳しくは... 農業者年金基金 検索
<https://www.nounen.go.jp>

大根のとも煮

【レシピ】野路 直美 委員(6区)

＜材料＞

- ・大根 300 g
- ・だし 450 cc
- ・みりん 50 cc
- ・醤油 大さじ 3
- ・大根おろし 200 g
- ・小ねぎ 少々
- ・砂糖 大さじ 2(お好みで)

＜作り方＞

- ① 大根は皮をむいて 1 cm厚さの輪切りにする。
- ② 小ねぎは小口切りにする。
- ③ 大根はたっぷりの水で下茹でする。(竹串がスッと入るくらい)
- ④ 鍋にだし、調味料を入れ、大根をゆっくり煮る。
- ⑤ 大根が柔らかくなったら、大根おろしを加えてさっと煮る。
- ⑥ 器に盛りつけて、小ねぎをちらす。



エルシーコープ株式会社

- 代表者：代表取締役 前川 康範
- 主な事業：物流事業・農産事業・宅配事業
- 本社：910-0315 坂井市丸岡町小黑 74-2-1
- 連絡先：0776-66-4787



購読のお申し込みは、
福井市農業委員会事務局まで

- ◆ 毎週金曜日発行
- ◆ B3版 8〜10ページ
- ◆ 購読料：月700円
(送料、消費税込み)



持続可能な農業を実現する、ヤンマーのテクノロジー。



AUTO TRACTOR  **ROBOT TRACTOR** 

ヤンマーの密苗 

ヤンマーアグリジャパン株式会社 中部近畿支社 福井支店 〒919-0327 福井市大土呂町2号8番地の1 TEL 0776-38-7777 FAX 0776-38-0116